

ふたなり
ティーパー
ティーパー
ドス
カベ
闘技場

ナギサ
VS
シスター
ユニット
+ 救護騎士団

FOR
R18
ADULT ONLY



何ですかこれは…？

ある日急に陰茎が生えてしまったナギサ。

ちんぽ

どうして急にこんなモノが…!?

もうすぐティーパーティーの時間だというのに…!

ティーパーティーのメンバーを除いた周りには陰茎の存在をひた隠しにしていたのだが…。

お二人に相談して

どうにか

周りに

♡

きゃー!

こんな姿を見せたら笑われるに決まっています!

いえ…でも…

おやおやおやおや…

くす!

何とか隠し通さなくては…

ああ

ああ



ナギサ様…

ミネとサクラコに
ふたなりが
バレてしまった



まさか貴方が
陰茎を持つ者
でしたとは…

ある医学書によると
ふたなりは性欲が強く
脳が男性器に支配
されてしまうそうですね

もし周りに知られれば
「権威を笠に着て
お気に入りの生徒に
手を出すのでは？」
などと噂されかねません

そこまで
言いますか…？



もちろん私たちは
あなたがそういう
人物ではないと
わかっています

ですがいざという時
周りを納得させる為の
「確信」が欲しいのです

ですから…



証明して
いただけませんか？
貴方が一時の
快楽に負けるような
人物ではないと
いうことを

なっ…

うんうん



何を言ってるんですか
お二人は！
証明って…
一体何をさせる気
なんですか！

またサクラコさんが
ズレた情報を仕入れて
こんなことを
言っているのでは…？

ミネ団長が
話の方向を
軌道修正して
くだされば…

ナギサ様



大丈夫です

正々堂々

ただ私たちに
あなたの誇りと信念を
見せてくだされば
いいのです

あ…
ダメです
ですな



人前で
変わった性器を
見せることに
抵抗はあると
思いますが…

変わった
性器

うっ



そ…
そもそも
性欲などという
目には
見えないもの…

私はどう証明
したらいいの
でしょうか？



ここは…？

シスターフッドが
以前発見した
施設です

今回のお話は
フライベートな
ことですから

秘密を守るには
ちようどいいかと
思っています



簡単なこと
ですよ

これから
私たちが誘惑
致しますので…

ナギサ様からは
手を出さないで
堪えてくだされば
いいのです

貴方が性欲に
負ける獣では
ないと証明
してください



ナギちゃん
大丈夫？

ええ…
問題
ありません



とは言った
ものの…

くら



そのような
簡単な条件で
いいのですか？

はい

私たちは
あくまでも
貴方の本心を
知りたいだけ
ですから



1対6は
流石に不平等
なのでは…？



気にしない方が
難しい数
なのですが…

お気に
なさらず

彼女達には助手として
来てもらいましたが
主にお相手するのは
私たち二人ですので



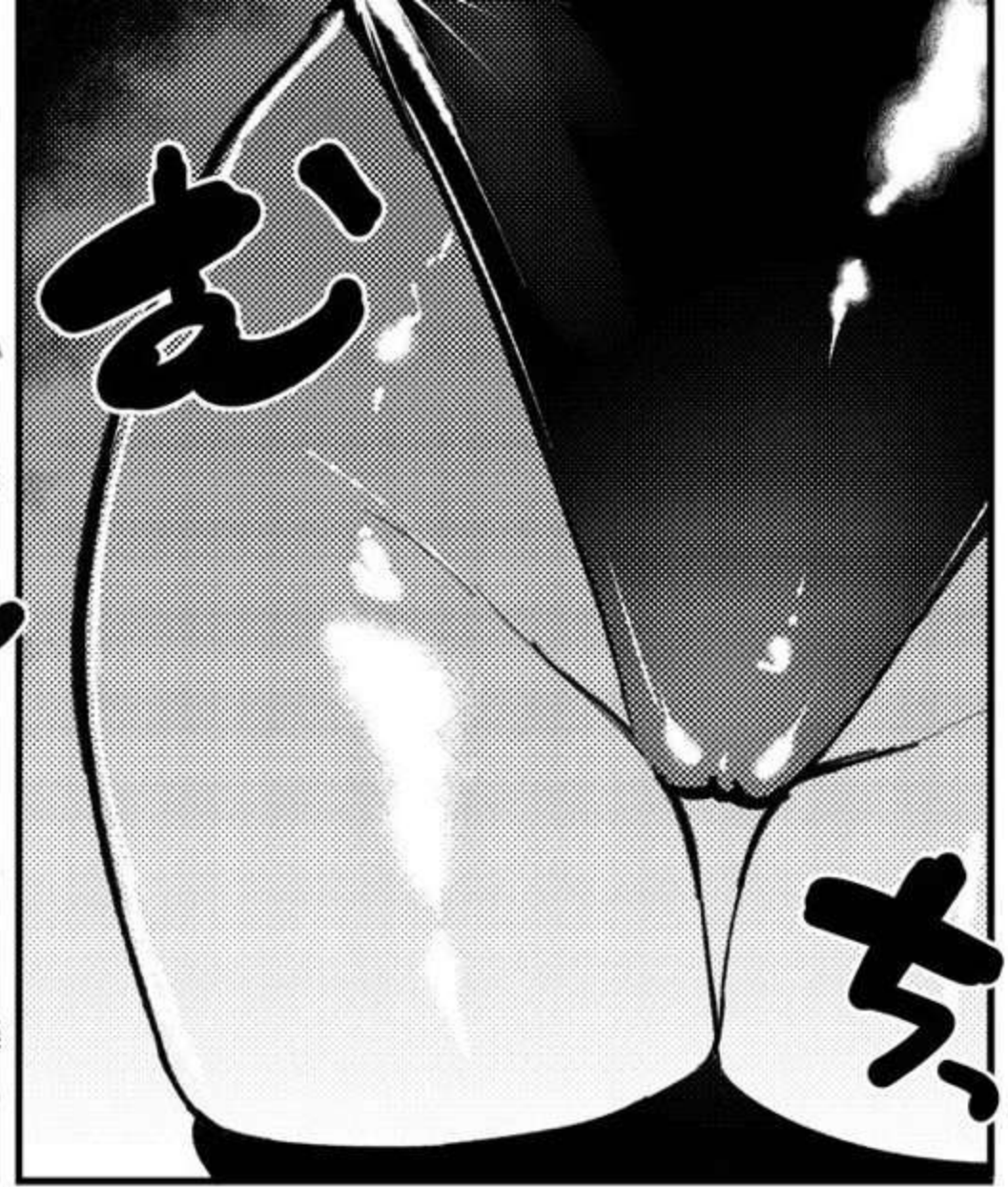
…っ!?

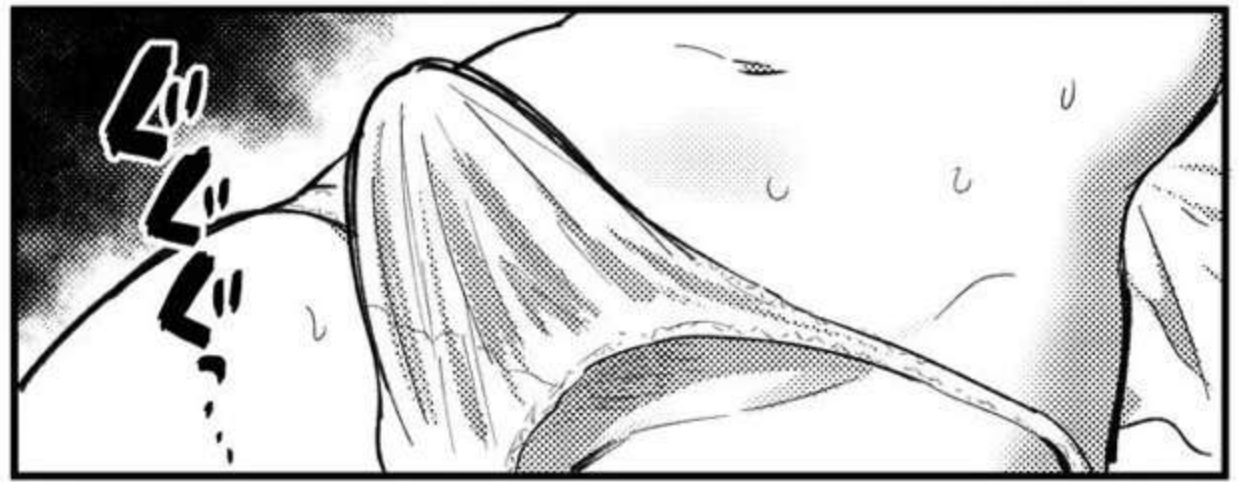
…です



クワッ









ティーパーティーの
ホストとして

下半身に
振り回されるようでは
示しがつきませんので

キーン



確かに男性器は
付いていますが…

私は今まで
理性ある行動を
心掛けてきた
つもりです

そして
これからも

私は誓って
無差別に生徒に
手を出したりは
致しません

むっり



聞こえて
ますよ…

Omo Omo

こらミカ
ナギサに
聞こえるだろう



んん

Omo

ナギちゃん
勃起しながら
カッコつけてる



えーと…!!

ハナコさん
お借りした本に
よると…

ここからは
どうするん
でしたっけ

マリー

では
続きを…



…確かに

これだけでは
まだ判断
出来ません

そうですね



死ぬ死ぬ死ぬ
死ぬううううう...

刺激が強すぎて
イケない!!!



おは
はっ
はっ
はっ

頑張ってください
ナギサ様!

でも耐えられて
ますよ!

ナギサ様から
こんな
野太い声が...



私のやり方が
間違っている
のでしょうか…？

そろそろ
精子という液体が
出てくるはず
なのですが…



あ…

この圧は
反則です…っ



はいっ！

ヒナタさん
アレを
試して
いただけ
ませんか？



えいっ…！



これは… おしっこ… ではないですね

へっ…

これが精子 ではない でしょうか…?



すごいニオイ…

こんなものを 膣に注がれたら どうなってしまうの でしょうか…



そろそろ 交代しましょう

ははいっ!

サクラコさんは 少々乱暴過ぎます

敏感な部位 なのですから もう少し優しく 触るべきですよ

うっ… すみません



コンドーム
付けますね

大丈夫
ですよ

待つ…



次は私が
お相手させて
いただきます
10分間
耐えてください

ちよ…
休ませて
くださ…

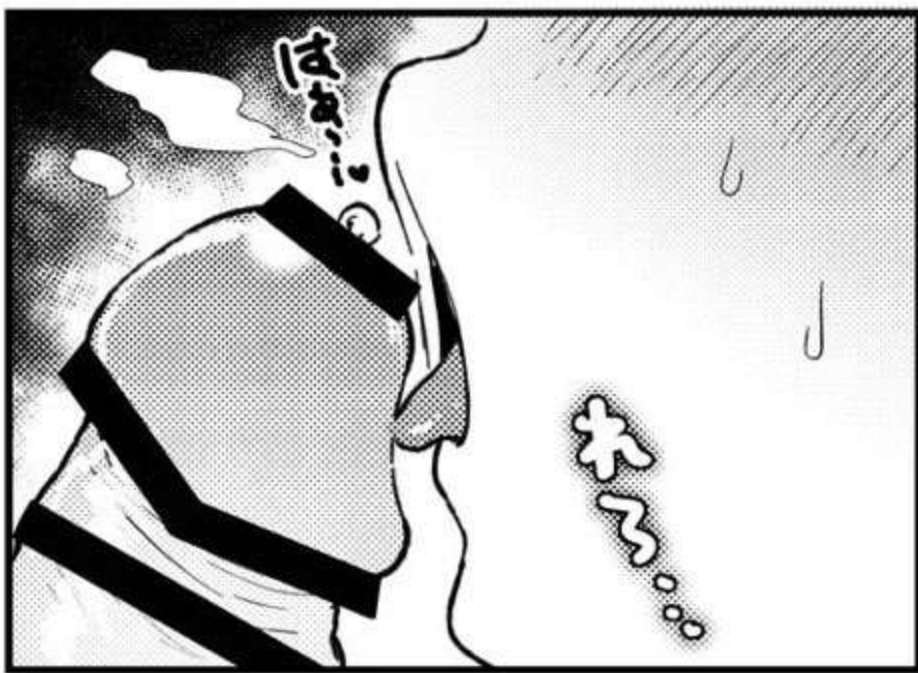


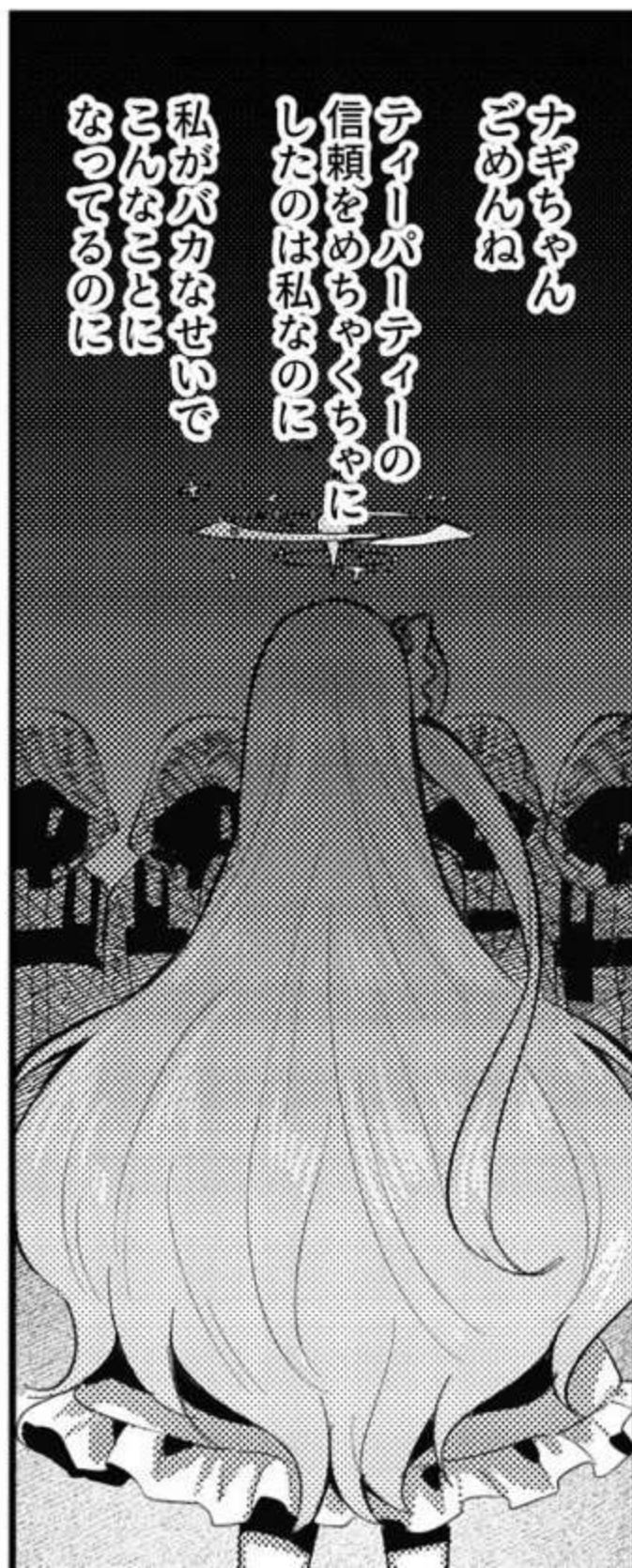
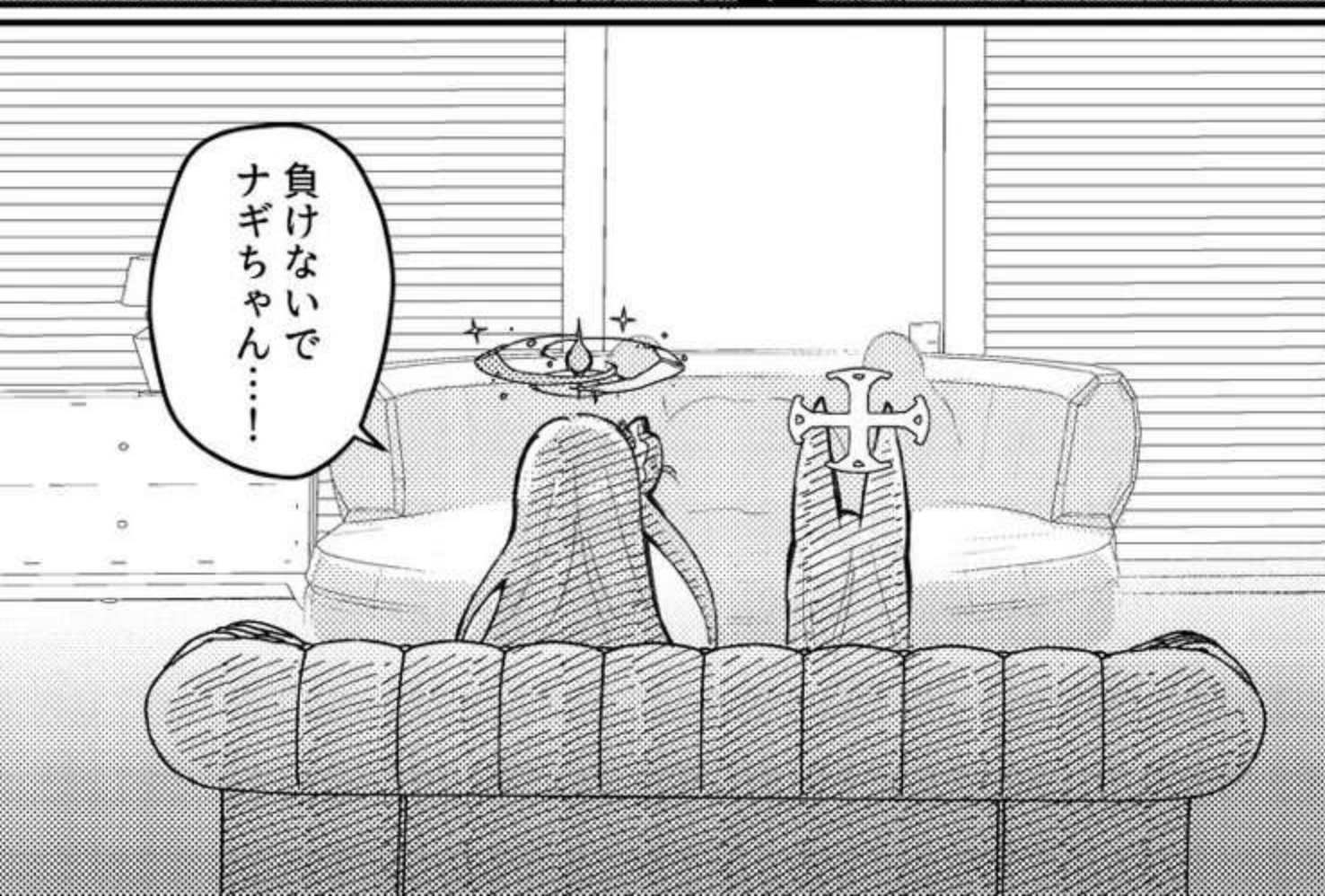
これも
救護の一貫です

私もこういった
経験はありませんので
上手く出来るかは
分かりませんが…



救護が
必要な場所に
救護を！
参ります！











セイア
さん…っ！

…さん

ミカッ



もう十分
でしょ？

キリッ

！
は、

ナギサは
よく耐えたと
思うよ



脳が上半身に
あることを
証明したと
いえるのでは
ないかな？



ナギちゃんは
誰にも自分から
手を出したり
しなかったよね



う…

十分
わかりました

…そうですね



ナギサ様…

疑ってしまい
申し訳ありません
でした

この罪…
命を持って
謝罪致します

私からも
謝罪致します

ミネさんは
少々大げさ
ですが…

カ
ン
リ



ほ…

わかって
くださって
よかったです…



よかったね
ナギちゃん!

もうナギサの
体力は限界だろう

私たちが
部屋まで
連れていくね

ありがとう
ございます

では私の
処分を…

は…

そういうのは
結構です…

しかし…!

本当に
結構ですから…







みんなの方から

ナギちゃんのあちゃんほください♡

っておねだりされちゃうかもね...?

最初は地下闘技場で射精我慢バトル
させられるナギちゃんの本だったのですが、
地面が硬くて可哀想だったのを、
円形のバットを闘技場ということに
しました。

**ふたなりティーパーティードスケベ闘技場
ナギサVSシスターフット+救護騎士団**

**発行:2024/12/29
作者:断崖絶癖/むちも
印刷:トム出版様**

**連絡先:muchimo0000@gmail.com
Twitter(X)→@mottirimuttiri
Bluesky→@mottirimuttiri.bsky.social**

無断転載・オークション等への出品はおやめください。

スペシャルサンクス
まやなさん
トーンとハイライトありがとうございました！！

